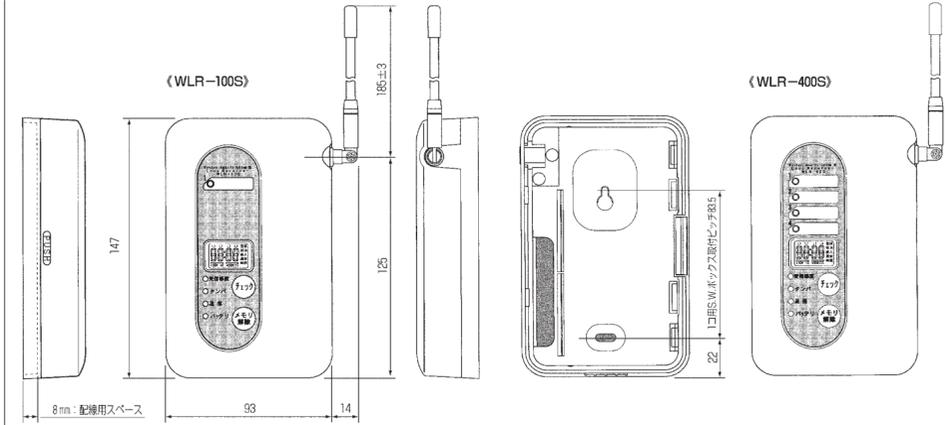


9. 異常時の点検について

状態	原因	点検と処置
外部への接続を行わない。	・自動通報装置は動作していますか？	・受信器と自動通報装置の接続が正しく行っているか確認して下さい。
電源表示灯が点灯しない。	・電源装置より電源が供給されていない。	・配線及び電源の確認をしてください。
N.C.に設定している接点出力が全て閉じている。	・電源が供給されていない(停電中)。 ・【※モード設定スイッチ】が「登録」もしくは、「抹消」になっている。	・電源を供給してください。 ・【※モード設定スイッチ】は「通常」で使用してください。
【②ループ表示灯】が点灯保持	・アラームメモリの表示をしている。	・点灯しているループの確認をしてから、【⑤メモリ解除ボタン】を押すと、表示灯が消灯します。
タンパ(異常表示灯)が点灯している。	・システム中の送信器(接続しているセンサ)が動作状態(戸閉り不完全etc.)になっている。	・点灯しているループの点検をして、送信器(接続しているセンサ)の動作を停止させてください。
【⑩通信異常表示灯】が点灯している。	・送信器の電池電圧が低くなっている。(送信器の電圧が不安定になっている)。 ・電波の環境が悪化している。	・この取扱説明書の8章8-5に従って、送信器が正常であることを確認してから、カバー本体を閉じてください。 ・警備対象(人、自動車etc.)が移動して電波が届かない。 ・警備対象(人、自動車etc.)が警戒解除中に電波が届かない所へ移動する場合、該当するループの【②通信管理設定スイッチ】を「OFF」に設定して、【⑤メモリ解除ボタン】を押してください。 ・【⑧受信感度表示灯】が「安定(点灯)」表示される所に設置してください。
【⑩ローバッテリー表示灯】が点灯している。(もしくは点灯と消灯を不規則にくり返す)	・送信器の電池電圧が低くなっている。(送信器の電圧が不安定になっている)。	・点灯し(消灯を不規則にくり返す)始めてから1ヶ月以内に、送信器の電池を交換してください。又、電池交換後は必ず動作確認をしてください。
カードリーダー、キースイッチで警戒にセットしようとしても警戒セットできない。	・システム中の送信器(接続しているセンサ)が警戒にセットしようとしても警戒セットできない。	・ループ表示灯で、該当するループを確認してループ不能状態(戸閉り不完全etc.)になっている。
停電もしくは受信器の電源をOFFにすると、「登録していた送信器が全て抹消される。	・【⑥メモリバックアップ】(リチウムボタン電池 CR2032)を使用していない。 ・リチウム電池(CR2032)の寿命	・必ず【⑥メモリバックアップ】を使用してください。 ・リチウム電池(CR2032)は8年毎に新品と交換してください。
送信器のカバーが開いているのにタンパ(異常出力)が出力されない。(代わりにループ出力がある)	・送信器がWDT-515Ⅲ、WTM-100Ⅲである。	・WLRではWDT-515Ⅲ、WTM-100Ⅲのタンパ(信号は動作(警報)信号として認識しますので、タンパ異常出力は使用できません)。
WLR内部の各種設定スイッチの設定通りにシステムが動作しない。	・設定(変更)後にメモリ解除ボタンを押し忘れている。	・設定(変更)を行ったときには必ず動作確認(7章参照)を行って電源投入後、メモリ解除スイッチを押してください。
送信器(センサ)が送信(検知)しているのに、WLRが出力しない。	・【※システムコード】が送信器と受信器で異なる。(送信器の【※システムコード】の8番目のスイッチがOFF) ・(通信管理(スーパーバイズド)使用時)送信器の登録が出来ていない。 ・(通信管理(スーパーバイズド)使用時)送信器の登録後に送信器のスイッチが設定変更されている。	・【※システムコード】は同じシステムで全て同一にしてください。 ・【※システムコード】の8番目のスイッチは「ON」にしてください。 ・通信管理(スーパーバイズド)を使用するときは必ず、使用する送信器を全て登録(6章-3参照)してください。 ・通信管理(スーパーバイズド)を使用するときは、送信器の登録後に送信器のスイッチの設定変更はしないでください。変更する場合は変更する送信器を登録抹消(6章-4参照)してから、スイッチの設定を変更して再登録してください。 ・【⑧受信感度表示灯】が「赤色点灯」を表示する所に設置してください。 ・又、外部アンテナを接続(【⑭アンテナ端子】、【⑮アンテナGND端子】参照)してください。
ループ表示灯が点灯する	・アンド機能を使用している。	・30秒以内にアンドが成立する条件(6章-6・7章参照)で送信器を設置してください。
送信器(センサ)が送信(検知)していないのにWLRが出力する。	・近くに同一システムコードのワイヤレスセキュリティシステムが設置されている。(他のシステムと混信している)。	・【※システムコード】を変更する。又はスーパーバイズド機能(6章-5参照)を使用してください。

10. 仕様



小電力セキュリティシステムの無線設備	
受信器・主装置	
WLR-100S	WLR-400S
電源電圧	DC10.8~13.2V (無極性)
消費電流	130mA (最大)
メモリバックアップ用電源	リチウム電池 (型番: CR2032) 寿命8年
検出受信距離	100m (但し周囲の状況により距離が短くなる場合があります。)
使用周波数	426MHz帯
電波型式	F2D
システムコード(混信防止)	128通り
無線入力	1ループ 4ループ
警報(アラーム)出力	1個、抵抗負荷 DC28V、0.2A (N.C./N.O.切り替え)
半導体無電圧	1個、抵抗負荷 DC28V、0.2A (N.C.)
通信異常出力	1個、抵抗負荷 DC28V、0.2A (N.C.)
ローバツテリ出力	1個、抵抗負荷 DC28V、0.2A (N.C.)
電源表示灯	通電緑色点灯(受信感度表示灯(緑色)も兼ねる)
受信感度表示灯	安定: 受信時赤色点灯、不安定: 受信時赤色点滅(電源表示灯(緑色)も兼ねる)
ループ表示灯	受信時 赤色点灯、異常表示時 赤色点滅
タンパ異常表示灯	受信時 赤色点灯、異常表示時 赤色点滅
通信異常表示灯	受信時 赤色点灯、異常表示時 赤色点滅
ローバッテリー表示灯	受信時 赤色点灯、異常表示時 赤色点滅
液晶表示部	警報(アラーム)・異常(タンパ・通信・ローバッテリー) 履歴を表示
警報(アラーム)接点出力時間	約6秒→センサの状態に連動
設置温度範囲	0℃~+40℃
設置場所	屋内
質量	約230g
付属品	取り付けビス ヨビ4×120 2本、リチウム電池 3.0V 1個、場所表示シール

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。(お断り) このシステムは侵入者の検知・押しボタンの操作により、警報を発するもので盗難防止機ではありません。万が一発生した盗難・事故等による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

保証書 WLR-100S/WLR-400S	
保証期間	保証の範囲
より 1年間	<p>Ⅰ. 保証の範囲</p> <p>次に該当する故障は、保証期間(お買上げ日より1年間)であっても無償で修理を行います。お買上げ日より弊社へ本書を添えてお申し付けください。</p> <p>Ⅱ. 保証の範囲</p> <p>1. 誤った取扱い、不当な修理、改造を受けた製品の故障に起因する故障。</p> <p>2. 災害など不可抗力による故障。</p> <p>3. 本書範囲に必要事項の記入がない場合、また本書と該当箇所の表示がない場合。</p>
お客様用(〒)	〈お願い〉
お名前	・太線枠内のお買上げ時に必ず記入を受けてください。記入なき場合は、本書は無効となります。
	・本書は大切に保管してください。再発行いたしません。

オステックス株式会社
 本社 〒520-0101 滋賀県大津市建等5-8-12
 TEL (077) 579-8620 FAX (077) 579-8170
 東京営業所 〒160-0223 東京都新宿区高松町14-1 新宿クワータワービル19F
 TEL (03) 3344-5775 FAX (03) 3344-5734
 MADE IN JAPAN

ワイヤレスセキュリティシステムⅢ 《受信器・主装置》

ループレシーバー WLR-100S/WLR-400S 取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただきありがとうございます。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。この取扱説明書は、保守・管理のために、システムの管理をされる方が、大切に保管してください。

はじめに
 WLR-100S/WLR-400S(受信器・主装置)は、弊社ワイヤレスセキュリティシステムⅢの送信器(別売)と組み合わせて使用し、侵入・火災・非常通報等の信号を、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動送信機等を通じて、緊急通報を行うための装置です。その他の用途での使用はしないでください。

1. 安全にご使用いただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 誤って取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	注意 誤って取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。	禁止 この記号は禁止を表します。
警告 万一煙が出たり、変な臭いがするなどの異常なときは、電源を切ってください。そのまま使用すると、火災、やけど等の恐れがあります。	警告 分解や改造は法律で禁じられています。また、お客様による分解・修理・改造は、火災や機器破壊の恐れがありますので、絶対にお止めください。	警告 電池を分解、加熱、火の中に投入しないでください。破裂・液もれを起し、けがをする恐れや、機器の故障の原因になります。

ワイヤレスセキュリティシステムⅢは侵入者や火災(別途専用センサを付けた場合)などを検知し、警報を発する機器です。盗難・火災などの防止機器ではありません。万が一発生した盗難・火災事故などによる損害については責任を負いかねます。

2. 電気通信回線設備への接続

ワイヤレスセキュリティシステムⅢ

この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただし受信器は自動送信機等(技術基準適合認定品に限ります。)を介して電気通信回線設備に接続して使用するため、利用する回線の種類は特定していません。受信器の自動送信機等(認定品)への接続は、受信器の無電圧接点出力端子(受信器の取扱説明書を参照)を自動通報機等(認定品)のセンサ入力端子等へ接続してご使用ください。

3. おもな特長

ワイヤレスセキュリティシステムⅢ WLR-100S/400SはワイヤレスセキュリティシステムⅢの各送信器と組み合わせてご使用ください。

- 電気通信回線設備への接続**
この無線装置は自動送信機等(技術基準適合認定品に限ります。)を介して電気通信回線設備に接続して使用するものです。
- 小電力セキュリティシステムの送信器、受信器は小電力セキュリティシステムの無電圧の無線設備ですので、市販の特定小電力トランスミッター・コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。**
- 設置が簡単**
ワイヤレスなので配線工事を簡略化できます。送信器を何台設置しても配線の必要がありません。配線の引きまわしが無いので建物の美観を損ないません。
- 4つのループ(4回路)の警戒・報知可能(WLR-400S)**
4つの受信ループが用意されています。すべてのループに、表示と外部への無電圧出力があります。
- アンド判別機能**
植木などが、その葉影の影響でセンサが検知する場合、同一ループで2つ以上、センサが検知してはじめて警報を出力する機能のことで、このようなことで誤報を少なくすることが出来ます。
- 無線送信器のループ管理可能**
スーパーバイズド機能(定時送信)により無線送信器のループ管理が可能です。
- 3つの異常出力**
送信器へのイタズラ(タンパ(異常)、送信器の盗難、電波環境の変化(通信異常)、送信器/バッテリーの交換時期(ローバッテリー)等の異常時機能を自動送信機(認定品)を通じて、警備会社のコントロールセンタへ連絡します。
- メモリバックアップ機能**
リチウム電池により、送信器の登録等のメモリ内容を停電時でも記憶しています。

4. 使用上のご注意

ワイヤレスセキュリティシステムⅢを正しくご使用いただくために、下記の項目にご注意ください。

- 屋外には取り付けしないでください。WLR-100S/400Sは屋内専用機器です。屋外では使用できません。屋外で使用されますと機器の故障の原因となります。
- 他の電気製品のそばには取り付けしないでください。ファックス、パソコン、テレビ、電子レンジ、モーターを使用した機器などの電気製品のそばに取り付けると正常に動作しない場合があります。
- 本体を分解して内部を改造しないでください。分解・改造は法律で禁止されています。又、機器の故障・火災の原因にもなりますので絶対に行わないでください。
- 火中に投棄しないでください。WLR-100S/400Sはリチウム電池が使用されています。リチウム電池が破裂する恐れがありますので絶対に火中への投棄は行わないでください。
- 海外で使用しないでください。ワイヤレスセキュリティシステムⅢは日本の国内専用の機器です。日本以外の国で使用した場合、その国の法律で罰せられることがありますので、絶対に海外で使用しないでください。
- 次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなる場合があります。
 - 送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の扉や壁がある場合。
 - 送信機もしくは受信器の取り付け面が金属製の場合。
 - 送信機などの強い電波を出しているところの近く。
 - 高圧線などの電気のノイズが多い所の近く。
 - 送信器のアンテナを立てていない場合。
- 機器本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 機器本体が汚れた場合は、中性洗剤を含んだ柔らかい布で拭き取ってください。(シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を傷めることがあります。)
- メモリバックアップ用のリチウム電池(型番: CR2032)は、必ず、8年毎に交換してください。
- スイッチの設定(変更)もしくは、フロントパネルを開いた後は必ず「メモリ解除」を押してください。押さずに使用を開始すると、スイッチの設定通りに動作しないことがあります。
- システムを正常にご使用いただくために、定期的に動作点検を行ってください。

